

クラブ訪問

212

「楽しみながら日本の文化に触れる」

成田小学校百人一首クラブ

私たち成田小学校百人一首クラブは、4～6年生の男女25人で、年8回のクラブ活動の時間に学習室で活動しています。

このクラブでは、読み手が和歌の上の句を読み取り手が下の句の書かれた札を取る「歌がるた」を行っています。歌がるたのやり方はたくさんありますが、私たちが行っているのはちらし取り。

これは床にばらばらに散らした札を相手より多く取った方が勝ちというものです。クラブ活動の時間が限られているため、20首ごとに分かれた5色百人一首を使い、短い時間に何度でも楽しめるようにしています。また、札を覚えている人と覚えられていない人の差を埋めるために、2人一組のチームに分かれるなどの工夫をしています。

初めは一つの歌を覚えるのも大変で、なかなか札を取ることができませんでしたが、語呂合わせや先生が用意してくれるプリントを使うことで少しずつ上達してきました。回数を重ねるごとに「この歌は絶対に取るぞ」というお気に入りの歌が出てきて、その札を取れたときはとてもうれしいです。

百人一首は日本の文化に触れることができる良い機会なので、クラブ活動の時間で一つでも多くの歌を覚えていきたいです。



飯塚 真理 部長(6年生)

部長としてチーム分けで同じ学年同士にならないように積極的に声を掛けるようにしています。



勝負は一瞬



そのか 岩澤 奏月 部長(6年生)

日本の文化を学びたくてこのクラブに入りました。みんなで百人一首を覚えていくのが楽しいです。

なかまと一緒に

209

「心温まる作品を」

サークルN: T

私たち「サークルN: T」は、毎週水曜日に玉造公民館で編み物を楽しんでいるサークルです。

何を編むかは季節や流行などに合わせて、各自で考えます。編む物を決めたら先生が製図を作成してくださるので、分からない場合は製図を見たり、先生に相談したりしながら作業を進めていきます。マフラーやセーターなど一般的



それぞれの作品を着て

な物を作ることが多いですが、変わった物では、ベッドカバーやこたつカバーを編んだこともあります。1つの作品を完成させるのにかかる時間は、小物であれば1カ月ほど。大作であれば半年以上かかる場合もあります。

活動は毎回2時間ほどなので、早く完成させたいときは家に持ち帰って取り組むこともあります。

手編みの良さは自分だけのオリジナルの作品を作れるところで、作る物を考えている時間はわくわくします。出来上がった物は自分で使うこともあれば、家族にあげることも。手編みは既製品と比べて暖かいので、使ってもらい「すごく暖かい」と喜んでもらえる、とてもうれしいです。また、一度完成して使っていた作品をほどこいて、同じ糸で別の姿に生まれ変わらせることができるのも編み物の特長です。

メンバーはみんな仲が良く、編み物をしながらおしゃべりを楽しんだり、一緒に出掛けたりもします。編み物は手先の運動になり、家でのおよそとした時間でも楽しむことができます。これからのいろいろな作品を作り続けていきたいです。



自信作です



先生に教わりながら

スクスクのびのび

471



いとう まこと
伊藤 真琴くん(6カ月)江井須

遊んでもらうのが大好き!たくさんの人から愛情を受けて大きくなってね。



やまだ ここみ
山田 心美ちゃん(2歳・右)山口
こうき
晃希くん(2カ月・左)

弟大好きお姉ちゃん!

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコメントを郵送またはメールで広報課へ

○応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)

○問い合わせ 広報課 ☎20-1503